

伊那から被災支援

AMD Aの活動紹介 ペルー展始まる



「私たちにもできることを」と募金への協力を呼び掛けるペルー展

若林さんら実行委

八月の大地震で多数の死傷者が出たペルーで、被災直後から医師や看護師を送り込み、医療支援を続けているNGOの国際医療ボランティア・AMD A（本郷・岡山市）の活動や現地の様子を紹介し、「伊那の地でもできることで支援しよう」と、四日から伊那市の伊那図書館でペルー展が始まった。会場で募金への協力を呼び掛けている。（新保修一）

ペルー展は、伊那市でこへでも「をスローガン国際交流活動をしているに活動するAMD Aの存在を知り、「ペルーから若林敏明さん（五三）富県北新Ⅱが中心になって実行委員会を作り企画。五百人以上の死者、五万六千軒を超える倒壊家屋など現地の惨状や、その中で「救える命があればど

展示しているのは、AMD Aから送ってもらっ

た現地での活動、被災地の現状を伝える写真三十枚。さらに、伊那市美篁

若沢在住で日本山岳写真協会南信支部会員でもある写真家、中山秀幸さん

（四）が撮影したペルーの山岳や遺跡、子どもたちの写真二十三点も展示した。中山さんは二〇〇一年から〇五年にかけて三

回ペルーを訪ね、主にアンデスの山岳写真を撮影。今回は、「ペルーの暮らしぶりや子どもたちの様子がわかるような写真を選んだ」という。

ペルー展は七日まで開き、入場無料。六日午後三時から、会場でケー

ナとハーブのサロンコンサートも開く。青年海外協力隊員としてペルーに二年間滞在経験のある楽器製作者北原有さん（四七）

伊那市長谷Ⅱのグループ「あるみかん」が出演する。